

THE SAUL BELLOW SOCIETY OF JAPAN
NEWSLETTER

APRIL 2013

SBSJ

Vol.25

発行：会長 町田哲司 編集：代表理事 片渕悦久
日本ソール・ベロー協会本部
573-1001 枚方市中宮東之町 16-1 関西外国語大学 町田研究室内
TEL 072-805-2801
E-mail machida@kansai.ac.jp
ホームページ URL <http://www.onyx.dti.ne.jp/~bellow/>

【第 25 回日本ソール・ベロー協会大会のお知らせ】

日時：10月11日（金）午後 2:00～5:30（1:30 受付開始）

場所：青山学院大学・青山キャンパス

総研ビル 7 階第 12 会議室

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

TEL 03-3409-8111 (代)

当日の連絡は、090-3618-0933 まで

交通機関：JR「渋谷」駅下車、青山通りを国連大学方面に徒歩 10 分／千代田線、半蔵門線、「表参道」駅下車、B1、B3 の出口、徒歩 5 分

《プログラム》

①2:00 開会の辞 町田哲司（会長・関西外国語大学）

②2:05～2:25 総会 司会：片渕悦久（代表理事・大阪大学）

③2:30～3:15 研究発表

秋田万里子（日本女子大学・院）「「使者」から「反逆者」へ：

Cynthia Ozick の *Foreign Bodies* における媒体としての自己」

司会：大場昌子（日本女子大学）

④3:30～5:30 シンポジウム

統一テーマ「ソール・ベローと神秘思想」

発題者・コーディネーター：町田哲司「ソール・ベローと神秘思想」

発題者：

小林美智代（大阪音楽大学）「ヘンリー・ミラーと神秘主義」（仮題）

勝井伸子（奈良県立医科大学）「マラマッドの神秘思想」（仮題）

佐川和茂（青山学院大学）「アイザック・バシエヴィス・シンガー
と神秘思想」

*懇親会（6:00～7:30）（会費：6000 円、院生 5000 円）

会場：青学会館

理事会（12:30～1:30）を、総研ビル 7 階第 12 会議室で開きます。

【2012年度会員ベロー関係活動報告】(2012年4月1日～2013年3月31日)

《論文》

◎池田肇子(福岡女学院大学)「Saul Bellow's *Mr. Sammler's Planet*: Sammler の役割」『比較文化』(福岡女学院大学大学院人文科学研究科紀要)第10号(2013年3月):77-92.

◎佐川和茂(青山学院大学)「ソール・ベローの『この日をつかめ』——ユーモアと神秘主義のきらめき」*Shlemiel* 12 (『シュレミール』、日本ユダヤ系作家研究会)(2013年3月):13-21.

《翻訳》

◎鈴木元子(静岡文化芸術大学)「ソール・ベローの息子アダム・ベローによる随筆(エッセイ):「僕の両親が愛し合っていたとき」」*Shlemiel* 12 (『シュレミール』、日本ユダヤ系作家研究会)(2013年3月):78-88.

《その他》

◎町田哲司(関西外国語大学)「Saul Bellow, *Seize the Day*(1956)」丹羽隆昭・町田哲司・柏原和子・松原陽子編著『アメリカ文学のミニマム・エッセンシャルズ』「第2部 作品紹介とテキスト」所収、大阪教育図書、2012年7月:206-11.

《海外ベロー関係文献》

◎Hojjati, Liela. *Acts of Narrative Confession in Selected Fiction of Saul Bellow*. Saarbrücken, Germany: LAP LAMBERT Academic Publishing, 2013.

Contents

Dedication	1
Review	2
Contents	3
Acknowledgments	6

Chapter 1:

1.1. Introduction: Disinterring Reality	7
1.2. Jewish and Christian Contexts of Confession: Bellow and Foucault	24
1.3. Dialogue and Social Theory of Confession: Bakhtin and Foucault	31

Chapter 2:

Narrative Confession: A theory

2.1. Introduction: Bellow-Dostoevsky-Bakhtin Connections	44
2.2. Key Confessional Concepts	49
2.2.1. Confession	49
2.2.2. Voice	66
2.2.3. Style	69
2.2.4. Authority	72

2.2.5. Humour	76
2.2.6. Borderline	81
2.3. Modes of Confession	86
2.3.1. Monophonic Confession	86
2.3.2. Polyphonic Confession	92
2.3.3. Carnavalesque Confession	94
2.3.4. Aesthetic Confession	98

Chapter 3:

Acts of Conservative Confession in the Early Fiction of Saul Bellow

3.1. Introduction: Social Domination and Conservative Confession	105
3.2. Confession and Journal Writing in <i>Dangling Man</i>	116
3.3. Confession and Conversations with the Double in <i>The Victim</i>	132
3.4. Confession and Humour in <i>Seize the Day</i>	140

Chapter 4:

Acts of Polyphonic Confession in *Herzog*

4.1. Introduction: Intellectual Struggles and Polyphonic Confession	153
4.2. Confession and Power	162
4.3. Confession and Transgression: Letter Writing	174
4.4. Confession and Polyphony: Narrative Voice	185
4.4.1. Heteroglossia	188
4.4.2. Seriocomic Discourse	195
4.4.3. Dialogic Relationships	203
4.4.4. Intertextuality	207
4.5. Confession and Silence	213

Chapter 5:

Acts of Carnavalesque Confession in *Humboldt's Gift*

5.1. Introduction: Border, Transgression, and Confession	219
5.2. Dialogic Relationships	239
5.3. Power, Knowledge, and Materialistic Impulses	248
5.4. Carnavalesque Confession: Subverting Distractions	250
5.5. Parrhesiac Confession: Exposing Boundaries	263
5.6. Threshold Confession: Crossing Death	267
5.7. Aesthetic Confession	271

Chapter 6:

Arts of Aesthetic Confession in *Ravelstein*

6.1. Introduction: Aesthetic and Political Confession	277
6.2. Confession and Political Truth	295
6.3. Confession and Aesthetic Truth	304

6.4. Aesthetic Relationships, Judgment, and Truth	307
6.5. Aesthetic Confession, Social Boundaries, and Freedom	314
6.6. Confession and Humour	321
Conclusion	330
Bibliography	336

©Ferguson, Robert A. "Saul Bellow Observes Old Age." *Alone in America: The Stories That Matter*. Cambridge, MA: Harvard UP, 2013: 181-200.

©Aarons, Victoria. "Saul Below." *The Cambridge Companion to American Novelists*. Ed. Timothy Parrish. Cambridge: Cambridge UP, 2012: 230-40.

©Epstein Joseph. "Saul Bellow: A Long, Unhappy Life." *Essays in Biography*. Mount Jackson, VA: Axios P, 2012: 159-77.

©Smith, Huston. "My Friendship with Saul Bellow." *And Live Rejoicing: Chapters from a Charmed Life*. Navato, CA: New World Library, 2012: 176-79.

©During, Simon. "Saul Bellow and the Antinomies of Democratic Experience." *Against Grain: Literary Experience in the Era of Emancipations*. New York: Fordham UP, 2012: 123-48.

©Chametzky, Jules. "Saul Bellow." *Out of Brownsville: Encounters with Nobel Laureates and Other Jewish Writers*. Cambridge, MA: Meredith Winter P, 2012: 44-47.

©Clements, James. "Bliss from Bricks: Saul Bellow's Moral Phenomenology." *Mysticism and the Mid-Century Novel*. New York: Palgrave Macmillan, 2012: 148-81.

《海外ベロー関係文献・補遺》

©Monda, Antonio. "Saul Bellow: I Believe in God but I Don't Bug Him." *Do You Believe?: Conversations on God and Religion*. Trans. Ann Goldstein. New York: Vintage, 2007: 27-33.

【協会活動報告】

2012年 4月 1日 : 『ニューズレター』第24号発行

9月 1日 : 「大会案内」「理事会案内」発送

10月 12日 : 理事会 (於ホテルルブラ王山「ちぐさ」)

10月 12日 : 第24回日本ソール・ベロー協会大会 (於ホテルルブラ王山)

《プログラム》

①2:00 開会の辞 町田哲司 (会長・関西外国語大学)

②2:05～2:30 総会 司会：片淵悦久（代表理事・大阪大学）

③3:15～4:00 特別講演

Edward Hoffman (Yeshiva Univ.)

“Saul Bellow and the Kabbalah”

⑤4:15～5:15 特別講演

岩山太次郎（同志社大学名誉教授）

『ハーゾグ』のベロー」

紹介：町田哲司

懇親会：ホテルルブラ王山「りんどう」

2012年3月1日：「2012年度研究発表、およびディスカッション発題の申し込み募集」発送

【東京支部活動報告】

2012年7月28日（於青山学院大学・青山キャンパス）

発表 「Steve Stern の *The North of God* を読み解く」

2012年12月22日（於青山学院大学・青山キャンパス）

発表 「*The Bellarosa Connection* におけるホロコースト」

2013年3月25日（於青山学院大学・青山キャンパス）

発表 「ヴィクトール・フランクルの時間・存続・態度」

参加者：大場昌子(日本女子大学)、坂野明子(専修大学)、佐川和茂(青山学院大学)、伊達雅彦(尚美学園大学)

【2012年度会計報告】(2012年4月1日～2013年3月31日)

収入の部	円	支出の部	円
前年度繰越金	133255	通信関係費	8930
会費	169240	大会・懇親会・理事会関係費	176740
懇親会費	90000	ホームページ関係費	25924
		アルバイト代	4000
		文具代	476
		次年度繰越金	176425
合計	392495	合計	392495

2013年4月1日

会長 町田哲司 ㊞

以上の報告に相違ありません。

会計監査 横山哲彌 ㊞

【お問い合わせ先のご案内、および名簿記載事項の追加・削除等について】

現在のところ、ベロー協会では、事務局機能を本部の方に移し、一元管理ができるようにしております。

「お問い合わせ」および「名簿記載事項」の変更（特定項目の削除依頼含む）につきましては、machida@kansai.ac.jp までメールで、もしくは 573-1001 枚方市中宮東之町 16-1 関西外国語大学・町田研究室まで文書で、お願いいたします。

「名簿記載事項」の変更につきましては、「会費振込用紙」の「通信欄」をご利用いただいても構いません。通常、振込用紙では、お名前と入金額、入金日のみ確認いたしておりますので、何らかの変更のある方は、かならずその旨、通信欄にご記入くださいますようお願い申し上げます。

「ニューズレター」、「名簿」、「振込用紙」以外の発送物につきましては、経費削減のため、できるだけメールにて送らせていただいております。迅速な意見の交換にも役立ちますので、ぜひアドレスをお教えてください。名簿には、許可をいただいた方のみ掲載いたしております。

【役員】（2013年4月1日～2015年3月31日）

理事：伊達雅彦（北海道、東北地区）

坂野 明子（関東地区）

大場 昌子（関東地区）

佐川 和茂（関東地区）

大工原 ちなみ（中部地区）

片渕 悦久（関西地区）

町田 哲司（関西地区）

渡辺 克昭（関西地区）

橋本 賢二（関西地区）

池田 肇子（中・四国、九州地区）

会長：町田 哲司

代表理事：片渕悦久

名誉顧問：モリス・オーガスティン（AUGUSTINE, Morris J.）

顧問：半田 拓也

会計監査：横山哲彌

本部：関西外国語大学町田研究室内

【原稿募集】

本部では、ニューズレターに掲載する原稿を募集しております。ベロー研究に関係のあることでしたら何でも結構ですので、本部までお送りください。できれば、添付ファイルにてお願いいたします。

【2014年6月 Greg Bellow 氏来日のお知らせ】

今年の4月に、*Saul Bellow's Heart: A son's Memoir* を出版されました、Saul Bellow 氏のご長男 Greg Bellow 博士が次年度の6月に来日されることになりました。日本ソール・ベロー協会では、6月13日（金）、関西外国語大学にてご講演をお願いしております。

【会費納入のお願い】

2013年度会費納入用の郵便振替用紙（日本ソール・ベロー協会：00940-5-109785）を同封いたしております（ただし、下記の理由により、昨年度 International Saul Bellow Society [ISBS] の会費を振り込まれた方については、今年度は、振込用紙を同封しておりません。また、すでに今年度分を納入済みの方にも同封しておりません）。一般会員は2000円、学生会員は1500円となります。年会費未納者は、次年度より会員資格を失いますので、ご注意ください。

日本ソール・ベロー協会 (SSJ) とは別に、アメリカに本部を置くベロー研究組織として ISBS があります。ISBS に加入される方については、SSJ に会費をお送りいただき、会計年度末に一括して会費を ISBS の方へ送ってまいりましたが、Liela Goldman 氏が体調不良にて会計および雑誌編集の仕事を離れられ、新たな会費の一括納入先が決まらない状況となりましたので、今年度より、SSJ では ISBS の会費は扱わないこととさせていただきます。今後、*Saul Bellow Journal* の購入を希望される方は、新たな号が出るたびに、個人で ISBS へお申し込みくださいますようお願い申し上げます。詳細は、ご面倒ですが、ISBS の HP (<http://www.saulbellow.org/>) でご確認ください。現在、24-2 (Fall, 2011) まで出版され（この号まで、こちらの手元に届いております）。25-1 (Winter, 2012) 以降の分の出版予定は不明です。

上記の事情で、2012年分として預かっております分が、送金できない状況になっております。昨年度 ISBS 会費 6500 円をお送りいただいた会員の皆様には、まことに申し訳ありませんが、下記の三つから一つを選んでいただきたく存じます。

1. 会費の前納分とする（4年後に1500円をお支払いいただくこととなります）
 2. 2000円を今年度の会費に当て、残りについては返金を希望する。
 3. 返金を希望する
- 1.もしくは、2.をお選びいただいた方は、ご面倒ですが、6月30日までに、ご選択の番号と、返金先口座情報（銀行名、支店名、口座名義、口座番号）を本部までお知らせ願えますでしょうか。1.をお選びいただいた方は、ご連絡いただく必要はありません。

【日本ソール・ベロー協会会則】（2008年9月10日改正）

第1条（名称）本会は日本ソール・ベロー協会と称する。

第2条（目的）本会はソール・ベロー及び関連諸分野の研究と、会員相互の交流をはかることを目的とする。

第3条（事業）本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 総会の開催
2. 調査・研究のための諸活動
3. 調査・研究成果の刊行
4. 会報（ニューズ・レター）の発行
5. 研究発表会・講演会等の開催
6. その他、本会の目的達成に必要と認め

られる事業

第4条（会員）会員はソール・ベローの研究に関心を持ち、所定の年会費を納めたものとする。

第5条（会費）本会の年会費は2000円、ただし学生会員の場合は1500円とする。年会費未納者は、次年度より会員資格を失う。

第6条（役員等）本会に次の役員等を置き、会員の中から選出する。

1.会長、代表理事各1名。理事会が理事の中より候補者を推薦し、総会で承認を得る。

2.理事。各地区毎に若干名。構成員数に応じて増減。総会で選出する。

3.会計監査1名。総会で選出する。

4.その他、本会に必要なと思われる諸役については、適宜会員の中から総会の決議に基づいて会長がこれを委嘱する。

第7条（役員の任期）役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

第8条（事務局）事務局機能は本部が担当する。

第9条（経費）本会の運営は会員の会費、寄付金、その他の収入をもって当てる。

第10条（事業年度）本会の事業年度及び会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終了する。

第11条（会則の変更等）本会の会則の変更、会費その他の重要な事項の決定は総会の議決による。ただし、International Saul Bellow Society (ISBS) の会費が値上げされた場合は、総会の承認を得ずにISBS分の会費を値上げし、その旨を事後報告とすることができる。

申し合わせ事項

(1)総会及び研究発表会は年一回開催する。

(2)本会の本部は、関西外国語大学 町田哲司研究室内に置く。